

「パートナー天然物化学 改訂第2版」

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）対応一覧

2015.3 (株) 南江堂

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム		本書の対応章
C5 自然が生み出す薬物		
(2) 薬の宝庫としての天然物		
①生薬由来の生物活性物質の構造と作用	1. 生薬由来の代表的な生物活性物質を化学構造に基づいて分類し、それらの生合成経路を概説できる。	各章
	2. 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	1章, 2章
	3. 芳香族化合物に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	3章
	4. テルペノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	4章
	5. アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	5章
③天然生物活性物質の取扱い	1. 天然生物活性物質の代表的な抽出法、分離精製法を概説し、実施できる。(知識、技能)	総論2
④天然生物活性物質の利用	1. 医薬品として使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。 2. 天然生物活性物質を基に化学修飾等により開発された代表的な医薬品を列挙し、その用途、リード化合物を説明できる。 3. 農薬や香料品などとして使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明できる。	各章